

◆発声の仕方に気を付けて話そう

1 対象児童生徒（対象学級）の実態 ・小学部 聴覚障害
2 指導目標 ・発声の仕方に気を付けながら話す。 ・言語力を高める。
3 取組の中心となる教科・領域等 ・自立活動
4 使用したアプリ、周辺機器 ・Sonic Print（マイクに向かって母音を話すと座標上に点で提示される。） ・Lightning Digital AV アダプタ
5 指導の経過及び児童生徒の変容 Sonic Print 指導期間 平成 25 年 11 月～ 1, 2 週間に 1 回程度 ・母音練習に取り入れた。母音の発声がおおむね正しくできているか視覚的にわかりやすいため、小学部の児童でも、自分の発声を視覚的にフィードバックすることができる。アプリを使うことで「上手に発声したい」という気持ちが高まり、意欲的に母音練習に取り組んだ。
6 指導のポイント（変容の要因、効果的な支援方法等） ・小学部の児童でも自分の発声を自己評価できる手段は少ないため、Sonic Print はとてもよいアプリである。現場の声を還元し、よりよいアプリ開発に取り組めるよう大学や企業との連携も図りたい。